

60周年記念事業

みんなでつくる 日野の宝マップ

～中地区～

日野に住むみんなから教えてもらった「日野の宝」。
あなたはどのくらい知っていましたか？
自分の住む地区を改めて見渡すと、
他にはない面白いものが転がっているかもしれません。



1～10 については参加メンバーが
記事で紹介しています。
裏面を見てチェックしよう！

動画チームの
作品はこちら



【北原とんがらし地蔵】

「目を患う人が唐辛子を備えるとご利益がある」と言われているお地蔵様。
お堂の扉にはどうがらし、中には目を模した穴の開いた石がたくさん！



【10代と社会をつなぐプロジェクト】

中学生を対象とした体験学習プロジェクトを行う団体です。サードプレイス「GACHINKO」を拠点に、子どもたちが自ら考え、地域に出て活動しています。



【万願寺中央公園】

とても広い公園で、体を動かして遊ぶのにぴったりな公園。地元の自治会さんや市民団体のお祭りなど、イベントにもよく使われています。



【一中角の煉瓦】

一中の角のスペースにはベンチといっしょに煉瓦が敷かれています。説明板を読むと、この煉瓦は1932年に甲州街道の舗装として敷かれたものだそうです。休憩しながら歴史を感じられるスポットです。

【地区トピックス】

一中地区にある仲田の森蚕糸公園&ふれあいホールでは、市民団体による多数のイベントが開催されています！いずれも魅力あるものばかり。ぜひ足を運んでみてください♪

- ・まちづくり市民フェア・手をつなごう・こどもまつり
- ・ひのアートフェスティバル・産業まつり

また「日野宿」を中心とした観光資源もあり、イベントの際には街中が賑わいます。

【八坂神社】

由緒ある日野八坂神社。毎年9月ごろの例大祭では日野ばやしの演奏や「みこパレード」などが行われ、迫力満点のお神輿が街中を練り歩きます。出店もあって町全体が盛り上がります！



●日野七小

日野市役所

●日野中央公園

●仲田小

●仲田の森蚕糸公園

●市民の森

●ふれあいホール

●日野一中

●日野宿本陣

●日野一小

●生活・保健センター

●日野四小

日野駅

甲州街道駅

万願寺駅

●万願寺中央公園

●9

1 仲田の森蚕糸公園



私にとって青春時代の思い出の場所、それが仲田の森です。30年以上前から公園が整備されるまでは「自然体験広場」として夏期限定で開放され、炊事場やテントが設置されキャンプもすることができ、自然そのままを体感できるワイルドな場所でした。キャンプのお手伝い等をする管理人のアルバイトをしたり、そこに集まってくる年齢・性別も様々な仲間と語り合ったり、私にとって学校以外で地域や社会、コミュニティを学ぶ事のできた大切な場所。今では公園としてきれいに整備され、昔のようにテントを張ってキャンプファイヤーをして…なんてことはできなくなってしまいましたが、四季折々の自然をいつでも感じられる素敵な場所となっています。公園内に残っている建物(蚕糸試験場蚕室)、通称「桑ハウス」は日野市初の国登録有形文化財として保護され、隣接する市民の森ふれあいホールと共に様々な市のイベントの会場としても利用されている日野を代表する公園の一つだと思います。通年を通しては認定NPO法人子どもへのまなざしが子ども達の居場所として定期的にプレーパーク「なかだの森であそぼう!」を開催していて、自然の中で遊ぶ事がより一層楽しいものになっています。仲田の森に行ったことのない方、ぜひ一度足を運んでみてください。季節ごとに「また行ってみたい場所」にきっとなりますよ。(らんらん)

2 まちづくり市民フェア



まちづくり市民フェアは、毎年10月ごろ市民の森ふれあいホールで開催される市民活動のお祭りです。日野市内で活動する団体が一堂に会し、パネル展示やワークショップなど趣向を凝らしたブースが展開されます。環境、福祉、子育て、音楽、武道、スポーツ、体操など、ありとあらゆる分野に精通した団体があり、「日野市にはこんな人たちがいるんだなあ〜」と新しい日野を発見したような感覚になりました。また、どのブースの皆さんも楽しそうにお話をされていて、「私もこの輪に混ざってみたいなあ〜」と思いました。まだ何をするかは決められていませんが、楽しく続けられる範囲で、地域活動に足を踏み入れてみようと思っております。ほかに市内のパン屋さんやキッチンカーなどの販売もあり、年齢問わず家族みんなで楽しめるイベントだと思います。ぜひ知らない方も一度足を運んでみてはいかがでしょうか？(ひのおじ)

3 日野子育てパートナーの会



子育て広場事業「みんなのはらっぱ」を実施しているNPO法人日野子育てパートナーの会。子育てベテランのパートナーさんと一緒に子どもを遊ばせながら、子育ての悩みを相談できます。また、近い年齢の子を育てるママさん・パパさんとも気軽に交流できて、知り合いも少なく初めての子育てで不安だった私にはとてもありがたい場所でした。とさどさ子育てに疲れてしまったとき、その気持ちを誰かに話せる場所があるというのは本当に心の支えになります。子育てに悩んでいる方、一人で抱え込んでしまう方、一度見に行ってみてはいかがでしょうか？(かずま)

実施日:毎週 火・水・木・金曜日
時間:午前9時30分から午後2時30分
会場:万願寺交流センター(万願寺中央公園内)

4 日野宿発見隊



日野市の街中を歩いているとき、昔のまちの様子の写真パネルが飾られているのを見たことはありませんか？あれは日野市のまちの変遷を後世に繋いでいこうと活動している「日野宿発見隊」の「まちかど写真館 in ひの」という活動なのです。平成20年から始まったこの取り組みは、昔の日野の様子が収められた貴重な資料を市民の方々から提供いただいて実施しているそう。昔の人が何気なく撮った写真が現代のまちに綺麗に飾られている様子は、今と昔の姿を比べることができてなんとも不思議な感じがします。この写真パネルを回って町中を歩いてみるのも楽しそう。日野宿発見隊は日野図書館を拠点に活動しています。(しま)

5 中央公民館



中央公民館は、市民の暮らしに寄り添いながら、市民のつながりの中に“学び”を生み出す場所です。中央公民館を拠点として、市民発の活動・子供の居場所に関わる事業をご紹介します。(公民館大好きっ)

- 「ひのたま食堂」(2021年4月より)
 - ・開催日:毎月1回 土曜日に開催。
 - ・内容:中央公民館でボランティアスタッフが調理し、ひの児童館でお弁当を配布しています。予約制。子ども無料。大人200円。
- 「居場所こむこむ」(2021年2月より)
 - ・開催日:毎月1回 第3木曜日に開催。
 - ・内容:公民館サークルの子育て世代の方から生まれた居場所。宿題を見たり、一緒に遊ぶ憩いの時間となっています。
- 「おむすびキッチン」(2017年8月より)
 - ・開催日:不定期(夏休みなどの長期休暇中に実施)
 - ・内容:“おむすびを通してみんなが結ばれるように”そんな思いを込めて、あったかい「おにぎり」などを無料提供しています。



6 ひのプロ・チャンネルマーケット



日野駅周辺の活性化を目的に2014年に立ち上がった「ひのプロ」の新たな活動拠点が、2023年4月にオープン。コミュニティスペース「キョテン107」に代わり、日野駅からすぐの「ダイニングバーRiver Side」で、毎週火曜日の「キョテン間借りカフェ」(営業時間10:00-15:00)をスタートしました。「キョテン間借りカフェ」では、市内や近隣の事業者がスペースをシェアしながら、コーヒーやランチ、スイーツを提供し、月替わりのワークショップも開催しています。これまでと同じように「まちの縁側」として地域の人とつながりながら、新たなコミュニティのあり方を考え、発信を続けています。シェアカフェメンバーやワークショップ利用者も募集中のようです!キョテンやチャンネルマーケットも時代の変化に合わせて形が変わっていくのが魅力的ですね。最新情報はインスタをチェックしてください。(おじさん)

(※)日野宿通り周辺「賑わいのあるまちづくり」プロジェクト実行委員会。地元住民や働く人たちが実践女子大学×日野市が協力し、日野駅東側広場での「チャンネルマーケット」や「キョテン107」での地場野菜販売など、市内事業者や農家と一緒に多数の取り組みをしています。

7 日野宿交流館



平成18年(2006年)に多摩信用金庫と八王子信用金庫が合併し、八王子信用金庫の土地と建物を日野市が取得し、現在の日野宿交流館となった。開設当初は、1階に駄菓子屋コーナーを伴った児童館が設置されたが、日野宿交流館の基本コンセプトを「平日は地域住民の交流施設・休日は観光客のための憩いとなる施設」とし、1階の間口を広く開放的な空間にリニューアルをおこない、現在では日野市観光協会が運営する観光案内所とお土産屋がある。2階では、「甲州道中日野宿」をメインテーマに新撰組や自由民権運動、日野宿の近現代など、日野宿を多角的にとらえる日野宿歴史の展示をおこなっている。3階は市民スペースとして、会議室・講座室の他、仲町自治会の地区センターの機能も伴い、多くの市民に利用いただいている。八王子信用金庫時代は、日野第一中学校の生徒(わたし)が通学路ショートカットのため、朝の通学時に、八信または中島酒店(当時)の駐車場を、全速力で通過していた。なぜ、全速力か。だって、捕まって怒られて学校に通報されたくないから。(あゆ)

8 日野宿本陣



本陣とは江戸時代の宿場町であり、大名や公家、幕府役人の宿泊や休憩に用いられた施設で、脇本陣はそれを補佐する役割を担っていた。甲州道中の日野宿にはその中心に、本陣の上佐藤家と、脇本陣の下佐藤家が並び建ち、現在の日野宿本陣は、日野本郷の名主で日野宿の間屋でもあった佐藤彦五郎(下佐藤家)の屋敷である。嘉永2年(1849年)の火災により焼失したが、元治元年(1864年)に本陣として再建され、都内で唯一現存する本陣であると言われている。日野本陣は、戦後、蕎麦店「日野館」として使用されていた時期もあったが、平成16年の大河ドラマ「新選組!」放映を機に、新選組まちおこしの機運が一気に高まる中、同年に日野市が取得し、建物の保存公開をおこなっている。尚、日野宿本陣は昭和36年に「日野宿本陣」として日野市の史跡に指定、平成15年に「日野宿本陣」として日野市の史跡に指定された後、平成22年に東京都指定史跡「日野宿脇本陣跡」に指定された。新選組副長土方歳三をはじめ多くの幹部が訪れ新選組に縁深い建物であり、函館戦争の後、土方歳三の遺品を持ち帰った市村鉄之助が匿われたと伝えられる部屋も残ることから、今もなお、新選組歴史愛好者など多くのファンに親しまれている。(あゆ)

9 多摩友の会



多摩友の会は、生活に役立つ衣・食・住の知恵や、家計・子育てのことなどを学び合っている団体です。万願寺の拠点では、地域の方が気軽に参加できるイベントもやっています。親子の居場所である「ぼかぼかルーム」や、わらべうた遊び会などもあり、親子で来てゆったりとした時間を過ごせます。また、大人向けに、家事や家計について学ぶ講座や洋裁教室なども開催しており、訪れるたびにいつもの生活が少し豊かになる、そんな素敵な場所です。日々の生活に彩りを加えたい方、子育てや暮らしのことに悩む方などにオススメです。(えんD)

10 一中地区アクションプラン実行委員会



一中地区アクションプランは「顔の見える関係づくり」をテーマに、一中地区全体で活動する団体です。メンバーには、スポーツが好きな人、歴史が好きな人、子ども達と遊ぶのが好きな人、高校生からおにいちゃんまで、年齢も属性も違う色々な人がおり、月に一回集まって一中地区を盛り上げる企画を考えています。最近では、誰でも参加できるポッチャやグランドゴルフなどユニバーサルスポーツのイベントを通して「近所で会ったら挨拶する」ぐらいのゆる〜い交流を図っています。一緒に企画を考えるメンバーも常時募集中です。まずはアクションプラン主催のイベントに参加して一緒に楽しみましょう!(しま)